

両案の比較

	愛知青少年公園だけの案	豊田市採取場を含む案
1.全体印象	ローカル(公園行事の印象)	グローバル(内外の識者の支持)
2.集客インパクト	公園造りかえ事業	自然回復と文化事業(特に情報劇場)
3.面積	全公園の地形変更が必要	公園の小変更と採取場整地
4.自然の回復と保護	公園の緑はかなり伐採	採取場の緑回復、公園の大半は残る
5.既存施設	アイスアリーナ、溜め池の撤去ができなければ 惨め	アイスアリーナ、プールは残す 溜め池は集中
6.情報劇場	進行過程で縮小される恐れ	理想通り実現可能
7.庭園劇場	地形変更のため植栽が間に合わず	理想通り実現可能
8.工期	公園地形のため工期が長い(アセス1年半で は厳しい)	工期は短い(アセスに2年かけるとかなり厳しい)
9.工費	地形変更と安全性に巨費を要する	削減可能
10.取得交渉	県有地なので交渉の必要なし(公園全閉鎖)	2～3社から鉱業権の買い取り(または借用)
11.ダイレクトイン	大鷹宮巣地近くを通る	大鷹宮巣地を避けて谷間の里道を通る
12.入場者	地元を中心に1000万人以下	全国から集客可能(2000万人以上)
13.収支予想	建設費は1350億円以上 運営費は700億円以上か 運営収支は400億円の赤字か	建設費は1000億円内外 運営費は700億円ぐらいか 運営収支は±0ぐらいか